

初版第三刷あとがき

今朝ビエール・ブルデュー死去の報に接してほどなく、藤原書店より、増刷の連絡を戴いた。再版に際しては、具体的な情報を盛り込んだ新たな後書きを書き加えたいと、前々から念じていたが、目下あいにくその余裕が許されない。必要最低限の訂正に限ったことを、読者にお断り申し上げる。また初版の若書きの型破りな後書きには、国内からはそれは多くの（真っ当な）ご批判を戴いた。だが外国の著者を物神崇拜し、自らは代理司祭をもつて任ずる、というこの国の思想書翻訳の在り方への批判は、現在もいささかも変わらない。また、訳者は黒子に徹して不可視の存在となるべきとする、一見正論ともみえる見解が含みうる権力との癒着こそ、まさに著者ブルデューが、『話すということ』において、もつとも痛烈に批判し続けた態度であったことも確認しておきたい。いささか意地悪とも見える著者の肖像にも、ブルデュー本人は笑いながら領いてくれた。それは思想の首領にのみ許される特権的寛容であり、また首領ならばこそ耐えねばならぬ、底無しの孤独を癒す技だった。だが今は、その温容を遙かに懐かしく思い起こし、最後まで勇敢な闘いを続けた著者に、心からの敬意を捧げたい。かつて若かった訳者が著者からうけた、目から鱗が落ちるような知的興奮、学問的情熱、そして個人的に知り合って身近に接した、人間としての勇氣と度量と配慮とを、いま新たな読者へと伝えることができたなら、訳者としてこれにまさる喜びはない。

西曆二〇〇二年一月二五日朝

訳者紹介

稲賀繁美 (いなが・しげみ)

1957年 東京生まれ。

1988年 東京大学大学院人文科学研究科 比較文学比較文化専攻 博士課程単位取得退学

同 年 パリ第七大学博士課程修了(新課程・統一博士号取得)

東京大学教養学部助手(1988-90), 三重大学人文学部助教授(1990-1997)を経て, 現在 国際日本文化研究センター/総合研究大学院大学助教授

著書に『絵画の黄昏: エドゥアール・マネ没後の闘争』(1997)

『絵画の東方: オリエンタリズムからジャポニスムへ』(1999)

編著に『異文化理解の倫理にむけて』(2000) 以上いづれも名古屋大学出版会

Crossing Cultural Borders: Beyond Reciprocal Anthropology, Kyoto, International Research Center for Japanese Studies, 2001

話すということ——言語的交換のエコノミー

1993年1月20日 初版第1刷発行©

2002年2月20日 初版第3刷発行

訳者 稲賀繁美

発行者 藤原良雄

発行者 株式会社 藤原書店

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町523

電話 03(5272)0301

FAX 03(5272)0450

振替 00160-4-17013

印刷 中央精版・製本 河上製本

落丁本・乱丁本はお取替えいたします
定価はカバーに表示してあります

Printed in Japan
ISBN4-938661-64-0